

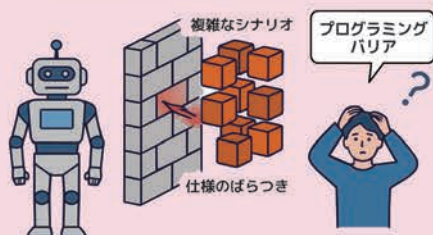


少子高齢化・
地域・モビリティ

「プログラミングの壁」を崩す！ 誰でも使えるロボット開発と社会実装

職場でロボットを導入したいが、専門知識やプログラミング操作の難しさに諦めていませんか？

サービスロボット普及の最大の障害である「複雑なシナリオ構築」と「仕様のばらつき」を、最新 AI と標準化で乗り越えます。プログラミングの壁を低くし、誰でも使えるロボットを実現します。



大原 賢一 教授
理工学部
メカトロニクス工学科



- 1. 直感的なコマンド解釈**
 LLM 等の活用を一つ的手段とし、専門知識のないユーザーからの自然な指示をロボットが解釈
- 2. 動作シナリオの自動生成**
 指示に必要なソフトウェアパッケージを自動で収集・構成し、複雑な操作を簡素化
- 3. 国際標準化と SIP 人材育成**
 仕様の標準化 (ISO 等) の推進と、開発者からエンドユーザーまで幅広い SIP 人材の育成



世界・国内での研究実績

- ▶ ロボットミドルウェア・空間知能研究
- ▶ サービスロボット機能の国際標準化 (ISO)
- ▶ SIP 人材育成プロジェクトの推進



想定連携先



サービス業・
店舗・案内



物流・倉庫



店舗の品出し
などの作業

家庭
(家事・生活支援)

